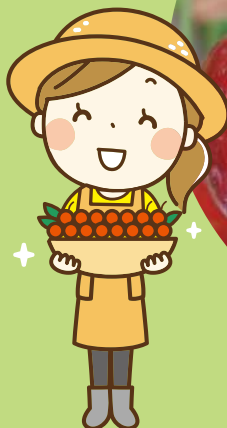


初心者のための

さくらんぼ作業 ガイドブック



新品種
「やまがた紅王」

山形県農業労働力確保対策実施協議会
さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム

令和2年2月

初心者のための

さくらんぼ作業 ガイドブック

このガイドブックは、さくらんぼ作業のアルバイトやボランティアに興味がある方を対象に、主な作業内容や作業を行う上での心構え、相談窓口等をまとめたものです。

具体的な作業方法については、地域や農家により異なる場合がありますので、実際に作業を行う場合は、農家の指示に従って下さい。

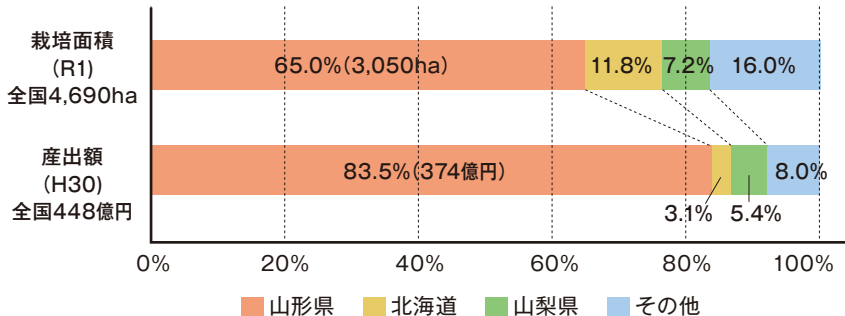
目次 CONTENTS

1	山形県のさくらんぼ	1
2	主な作業内容	
	(1) 摘芽(芽かき)	2
	(2) 人工受粉	4
	(3) 摘果	5
	(4) 葉摘み	8
	(5) 収穫	10
	(6) 選果・箱詰め	12
3	脚立を使った作業の注意点	15
4	作業する上での心構え	16
5	無料職業紹介の流れ	16
6	主産地JAの無料職業紹介所等	17
7	主産地市町の相談窓口	17

1 山形県のさくらんぼ

(1) 栽培面積と産出額

山形県のさくらんぼの栽培面積は3,050ha(R1)で全国の約7割、産出額は374億円(H30)で全国の8割以上を占めています。

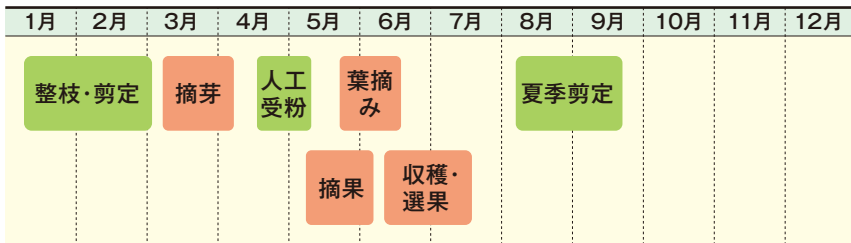


(出典:農林水産統計「令和元年果樹及び茶栽培面積」、「平成30年生産農業所得統計」)

(2) さくらんぼ作業の流れ

臨時雇用や援農ボランティアの方が頼まれる作業には、「摘芽」、「摘果」、「葉摘み」、「収穫・選果」などがあります。

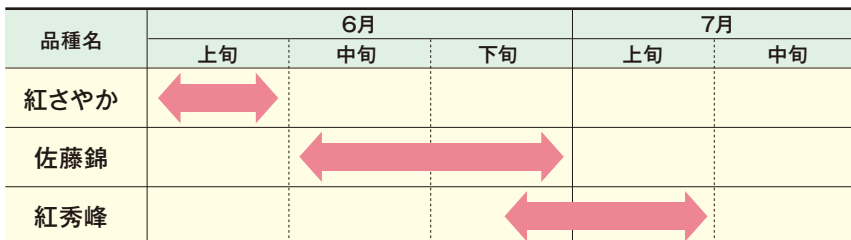
●作業時期の目安



…臨時雇用の方が頼まれる主な作業

(3) 主な品種の収穫時期

●村山地域における収穫時期の目安



2 主な作業内容



作業の目的

開花前のつぼみの段階で余分な花芽※1を摘み取り、残った花芽に養分を集中させることで、質の良い花を咲かせます。開花前に花の数を調整することは、その後に行う摘果作業の省力にもつながります。

作業時期 3月上旬から4月上旬

剪定作業の終了後に作業を開始し、開花前までに終わるようにします。

作業方法

- ア 葉芽※2の隣の花芽を2～4芽程度残して、残りは落とします。
- イ 残す花芽の数は、品種や樹勢により異なりますので、農家に確認して下さい。
- イ 芽の先端を親指で押さえ、基部の方向へ押し倒すように取ります。
- ウ 葉芽は落とさないように注意して下さい。



摘芽前の短果枝※3



摘芽後の短果枝
(2芽残す場合)

用語説明

- ※1 花芽(はなめ)……生長して、後に花になる芽。葉芽に比べ、やや丸みを帯びている。
- ※2 葉芽(はめ)……生長して、後に葉や枝になる芽。花芽にくらべ、やや細長く尖っており、短果枝(たんかし)の中心部に1つだけある。
- ※3 短果枝(たんかし)……果実が着く短い枝(花束状短果枝)

摘芽作業の有無によるその後の生育の違い

〈摘芽しなかった場合〉



枝にびっしり花が咲く。



果実が適正な量より多く結実し、
摘果作業が大変になる。

〈摘芽した場合(2芽残した場合)〉



花はやや少なく感じる程度。



適正な着果量に近い果実が結実し、
大玉になりやすい。

2

人工受粉

作業の目的

さくらんぼは、同じ品種だけでは実をならせることができません。実をならせるためには、異なる品種(受粉樹[※])の花粉を雌しべに付ける必要があります。このため、園地には同一品種だけでなく、異なる品種(受粉樹)を組み合わせて植えてあります。

一方、受粉樹があっても、開花期に低温や強風に遭うとミツバチ等の訪花昆虫の動きが鈍くなり、十分に受粉しない場合があります。

人工受粉は、毎年安定した収量を確保するために行います。

作業時期 4月下旬

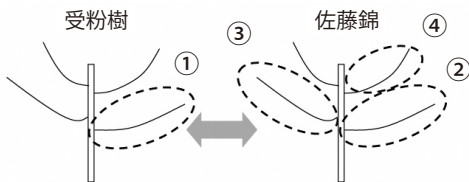
受粉樹が開花し、主力品種「佐藤錦」の開花が始まったら、作業を開始します。

作業方法 (毛バタキ受粉の場合)

- ア 人工受粉は、基本的に「佐藤錦」等の主力品種の花が樹全体の5分咲きになった時と、8分咲きになった時の最低2回行います。
- イ 初めに毛バタキを回転させながら花をなでるイメージで、受粉樹の大枝1本分の花粉を取ります。(①)
- ウ 次にこの毛バタキを回転させながら花をなでるイメージで、主力品種の大枝3本に花粉を付けます。(②～④)
- エ ①～④の作業を繰り返し、主力品種の全ての大枝に花粉を付けます。



毛バタキを使った受粉作業



用語説明

※受粉樹(じゅぶんじゅ)…主力品種の樹に安定して実をならせるため、主力品種の樹の近くに植える別品種の樹。主に「紅さやか」や「ナポレオン」など。

3

てきか
摘果

作業の目的

葉の枚数に対して実の数が多すぎると、1つの実に分配される養分が少なくなり、果実が小玉になり、品質も低下します。

「摘果」は、大玉で糖度の高い果実を生産するために、果実が生長する前に余分な実を摘み取る作業です。

作業時期

5月中旬から6月上旬

生長の早い果実が小指の先端程度の大きさになり、自然に落下する小さい果実と区別できるようになった頃から作業を始めます。

作業の時期が早いほど、残された果実の肥大が良くなります。



摘果作業を始める時期の果実の大きさ

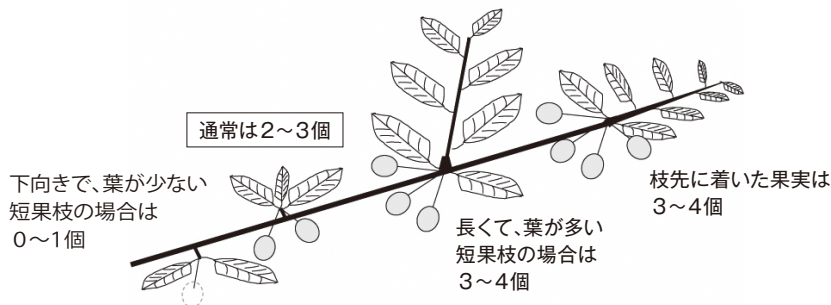
作業方法

摘果作業の方法には、①ハサミを使う方法、②手で摘み取る方法などがあります。

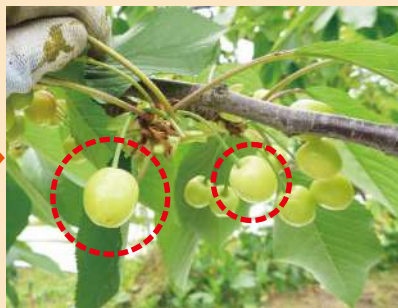
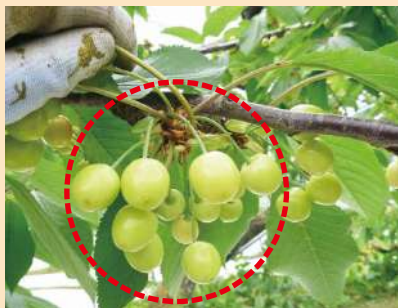
ア 作業は短果枝ごとに行います。

イ 1つの短果枝に着いた果実の中から、残す果実を選びます。

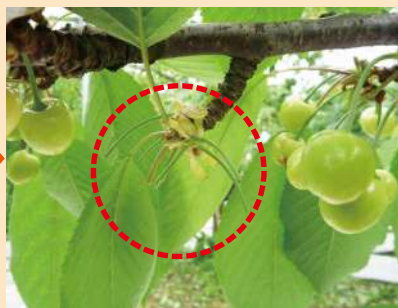
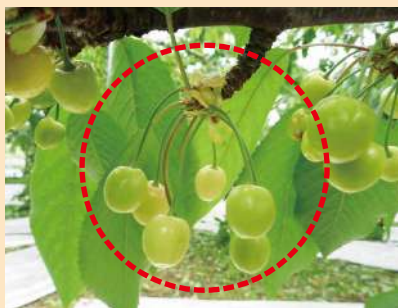
通常2～3個の果実を残しますが、残す数は品種、果実が着いている場所などにより異なります。残す果実は、軸が太く、大きな果実を選び、枝に接触している果実や双子果、病害果は摘み取ります。



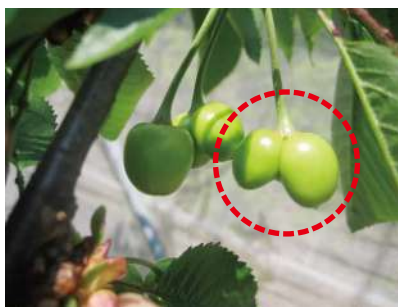
短果枝の位置による残す果実の数の違い



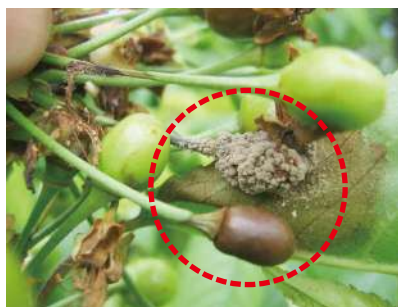
大きい葉が多く、横向きや上向きの短果枝の場合 → 2~3個残す



全体として着果量が多い樹で、葉が少なく、下向きの短果枝の場合 → 0~1個残す

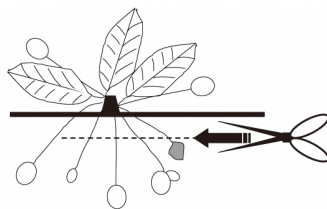


摘み取る双子果



摘み取る病害果

ウ 横からハサミを入れて、残す果実を除き、軸の途中から切り落とします。



摘果作業前と作業後の比較(下から見た写真)



4

はっ
葉摘み

作業の目的

色づきが良く、糖度の高い大きな果実をならせるためには、果実や葉にまんべんなく日光を当てることが大切です。

「葉摘み」は、果実への日当たりを悪くしている葉や、果実に接触している葉等を摘み取る作業です。

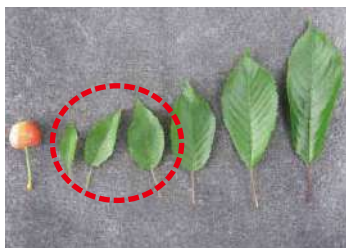
作業時期 5月末から6月中旬

果実が赤く色づき始めた頃から作業を始め、収穫が始まる5～7日前まで終えるようにします。

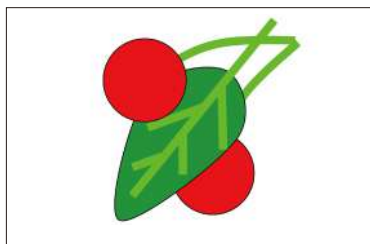
作業方法

- ア 1つの短果枝に最低でも大きい葉を4枚以上は残すようにし、手で摘み取ります。
- イ 枝を下から見上げるようにして、マメ葉(小さい葉)や果実に挟まれた葉を摘み取ります。

注意:葉を摘み過ぎると、着色が悪く、甘みの少ない果実になります。

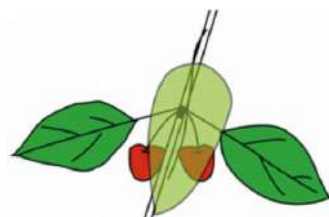


マメ葉(小さい葉)



果実に挟まれた葉

- ウ 枝を上から見下ろすようにして、果実や枝に覆いかぶさった葉を摘み取ります。



果実や枝に覆いかぶさった葉

作業前



作業後



エ 葉摘みは樹の上部の枝から下部の枝へ、また一本の枝では先端から幹に向かって作業を進めます。



葉摘み作業前と作業後の枝の比較

作業前



作業後



5

収穫

作業のポイント

さくらんぼの収穫適期は、他の果樹と比べて短いことから、作業は計画的に効率良く進め、短期間で終わらせる必要があります。

また、さくらんぼの果実は傷みやすく、収穫後の日持ちが短いことから、丁寧に取り扱うとともに、収穫後の温度管理にも注意が必要です。

作業時期

6月上旬から7月中旬

村山地域における各品種の収穫時期の目安は下の表のとおりです。
なお、収穫時期はその年の天候にも左右されます。

●表 村山地域における収穫時期の目安(雨よけ栽培の場合)

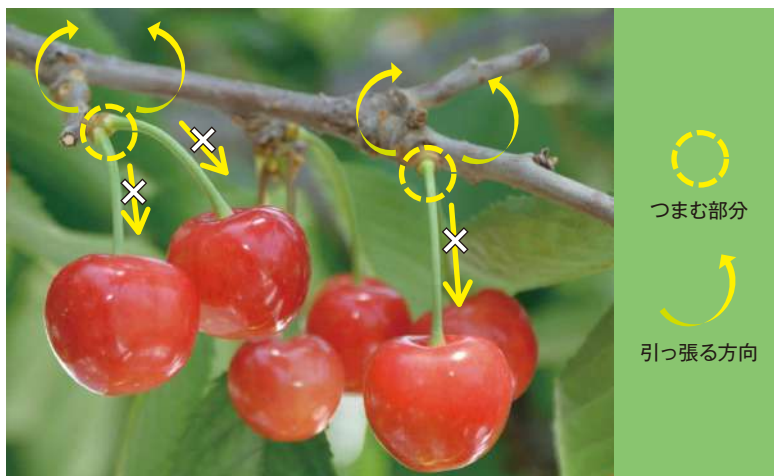
品種名	収 穫 時 期				
	6月			7月	
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
紅さやか	■				
高砂		■			
紅ゆたか		■	■		
佐藤錦		■	■		
紅きらり			■		
紅秀峰			■	■	
ナポレオン				■	
紅てまり				■	■

作業方法

- ア 収穫方法には、果実の熟度や色づきを見ながら、適期に達した果実のみを選びながら収穫する「すぐりもぎ」と、収穫期に1本の樹になっている果実を全て収穫する「がらもぎ」があります。
- イ 収穫作業は、なるべく朝の涼しい時間帯に行い、原則として午前中に作業を終えるようにします。
- ウ 腰に付ける収穫かごの内側には、果実が傷まないようにウレタンや布を貼り付けます。また、収穫かごの果実を移すコンテナにもウレタンなどの資材を敷きます。

エ 収穫の際は、果実には触れず、枝に近い軸の付け根部分をつまんで、枝の方向に弧を描くように持ち上げて収穫します。

- 軸をつまんで果実の方向に引っ張ると収穫しにくいうえ、来年以降に花芽を着ける短果枝が取れることがあるので注意が必要です。
- 収穫かごの果実は、重みで傷まないようこまめにコンテナに移し、コンテナはできるだけ日陰の涼しい場所に置きます。
- 表面や実割れした部分にカビが生えた病害果は、地面には落とさず、収穫かごとは別の袋に入れるなどして、後で園地の外に運び出して処分します。



収穫の方法



カビが生えた病害果



収穫作業の様子

6

選果・箱詰め

作業の目的

収穫した果実は、果実の大きさや着色程度等の規格ごとに選別して、出荷箱やパックに詰めます。

収穫作業と同様に果実が傷まないよう丁寧に扱います。

作業方法

選果作業は、専用の機械を利用する場合がありますが、ここでは手作業による方法を説明します。

ア コンテナに入った収穫後のさくらんぼを作業小屋などに設置された選果台(大きなテーブル)に広げます。



選果台

イ 選果板(スケール)を使って、果実を1つずつ大きさや着色程度で分類し、箱やパックに詰めていきます。



選果板

- 選果板の大きい穴から順に果実を通してみて、初めに引っかかった穴がその果実のサイズになります。
- 他の果実に比べ、明らかに色づきが悪い果実は、秀品ではなく下位の等級(良品等)に選別します。

○裂果した果実や双子果、熟し過ぎて柔らかくなった「うるみ果※」等は、区別して出荷しないようにします。



裂果した果実(佐藤錦)

○Mサイズより小さい19mm未満の果実や着色程度が50%未満の果実は、生食用としては出荷しないよう生産者に呼び掛けています。

「オール山形」で、出荷規格を守ろう

生食出荷向けの出荷規格

- 果実の大きさ…M玉以上(19mm以上)
- 果実の着色…50%以上

出荷できます	出荷できません
生食 秀品(70%以上) 優品(60%以上) 良品(50%以上) 厳選して出荷しよう!	生食 規格外品 (着色不良果混入) 規格外品(50%未満)

厳選出荷の啓発チラシ

用語説明

※うるみ果…熟し過ぎて柔らかくなった果実。気温の高い日が続くと発生しやすい。

ウ 箱詰めやパック詰めの方法としては、贈答向けなどに果実を1つ1つ並べて詰める方法と、並べずにそのまま詰める方法(バラ詰め)があります。



並べて詰める方法(1kg箱)



並べずに詰める方法(200gフードパック)

③ 脚立を使った作業の注意点

樹園地では、一般的に安定しやすい三脚タイプの脚立を使います。

(1) 安全な設置方法

- ア 滑りにくく安定した場所に、脚立がなるべく傾かないように設置します。
- イ 設置後は必ず開き止めのチェーンをかけます。
- ウ 斜面に設置する場合は、斜面の高い方に後支柱(1本脚)が、斜面の低い方に前支柱(2本脚)がくるように配置します。

(2) 安全な使い方

- ア できるだけ運動靴などの滑りにくい靴を使用します。
- イ 天板(最上段)に登っての作業は危険です。(登るのは天板の下の段まで)
- ウ 脛すねや腿ももを脚立に当てて身体を安定させます。
- エ 脚立の昇降面に背を向けての作業や登り降りは大変危険です。



チェーンをしっかり掛ける



脛や腿を脚立に当てる



天板(最上段)では作業しない



昇降面に背を向けて作業しない

4 作業をする上での心構え

- 事前に就業条件(作業内容、勤務時間、休憩時間、時給単価、交通費等)をよく確認しましょう。
- 服装(作業着、靴、帽子等)や持ち物は、事前に農家に確認しましょう。
- 作業の説明を聞いて不明な点がある場合は、何度でも聞き直して、作業の目的や方法を十分に理解した上で作業に取りかかりましょう。
- 作業中に体調が優れない場合は、無理せず休憩し、農家に相談しましょう。
- 農家と一緒に作業している仲間と積極的にコミュニケーションを取り、楽しく作業を行うよう心がけましょう。

5 無料職業紹介の流れ

①求職の申込み

紹介所の窓口を訪れるか、電話で求職を申し込んで下さい。
※各紹介所で準備している求職票に記入し、FAXやメールで申し込むことも可能です。窓口を訪れる場合は電話で日時を事前に予約して下さい。

②求人情報の提供

後日、紹介所から求人のある農家が紹介されますので、農家に電話して面接日時等を確認して下さい。

③農家との面接

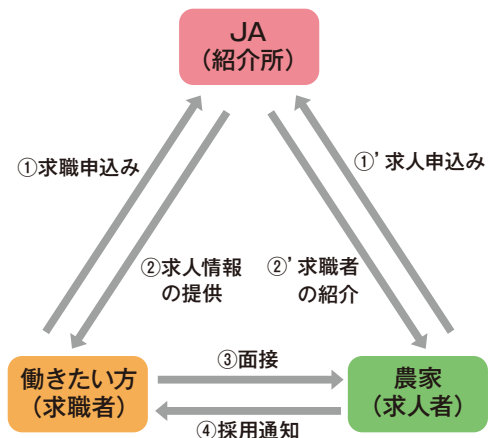
農家から指定された日時に訪問し、作業内容や就業条件を確認して下さい。

④採用通知

面接後または後日、農家から採用または不採用の連絡があります。

⑤就業

採用の連絡があったら、雇用契約を締結し、指定された日から雇用が始まります。



6 主産地JAの無料職業紹介所等

(1) 各JAの無料職業紹介所

JA名	作業エリア	相談窓口	電話
JAやまがた	山形市、上山市など	営農経済部営農米穀課	023-624-8562
JAてんどう	天童市	営農販売部TAC・担い手支援課	023-653-5114
JAさがえ西村山	寒河江市、河北町など	営農企画部営農企画課	0237-86-8184
JAみちのく村山	村山市、尾花沢市、大石田町	営農販売部営農企画課	0237-55-6317
JAさくらんぼひがしね	東根市	営農販売園芸部営農指導課	0237-43-1115

(2) JA山形中央会が運営する農業関連の求人ウェブサイト

県内の各JA無料職業紹介所の
求人情報がインターネットで
検索できます。

JAグループ山形 求人ウェブサイト



URL <https://job.nokyo.or.jp>

7 主産地市町の相談窓口(援農ボランティア、研修会等)

市町名	相談窓口	電話
山形市	農林部農政課	023-641-1212 (内線432)
上山市	農林夢づくり課	023-672-1111 (内線412)
天童市	経済部農林課	023-654-1111 (内線214)
寒河江市	農林課農業振興係	0237-86-2111 (内線325)
村山市	農林課農業振興係	0237-55-2111 (内線253)
東根市	経済部農林課	0237-42-1111 (内線2752)
河北町	農林振興課農業振興係	0237-73-2111 (内線232)

発行 | 山形県農業労働力確保対策実施協議会
さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム
(山形県農林水産部園芸農業推進課内)
山形市松波二丁目8番1号 TEL 023-630-2466

